

第2号議案

令和3年度事業計画（案）

1 骨子

当推進会議は、平成17年に産学官が一体となり、本県進出の大手企業と地場企業が共に発展する「おおいたLSIクラスター」の形成を目指し設立され、世界市場の中で闘えるクラスターを目指し、研究開発や人材育成、販路開拓、情報提供、会員交流に取り組んできました。

当初は、進出大手企業を中心に地場企業による半導体関連産業への参画を推進する事業活動を進めてきました。平成20年には、企画委員会を設置し、地場企業が主体的に活動する事業形態に変革していくことで、自立して行動できる企業が多く育ってきました。更にその中から技術を磨き、事業を拡大し、研究開発助成や海外展開支援を通して新市場へチャレンジする企業も出てきました。

その後、平成27年からはこれまでの活動成果をふまえ、次の10年を見据えたLSIクラスターの新たな事業運営・方向性として、「幅広い情報の収集」「新たなネットワークの構築」「新分野への活動展開」を重点的に取り組んでおります。

昨年度はCOVID-19の影響により、国内経済の二極化や新たな働き方等、企業を取り巻く環境は大きく変化しました。一方で、世界半導体市場は前年度比プラス5%成長と予測され、令和3年度に向けては、データセンターやネットワークシステムの需要が拡大、主に5GやAI、IoT等アプリケーション、加えてスマートオートモーティブや既存のPC・スマホ・通信機器によって牽引され、更に大きく伸長すると予想されています。

このような背景のもと、当クラスターが成長していくためには、九州圏内を中心に他地域のクラスターとの連携強化や異業種との交流を図りながら、これまで培った技術・人材・ネットワークを活用し、世界の最新の情報や技術動向・ビジネス創出手法をいち早く紹介し、取り込むことで、新たな事業分野への挑戦・ビジネスチャンスの拡大を進めていくことが必須と考えます。

今年度も引き続き、27年度策定方針の基、3つの専門部会において、多様な情報収集・活動を行うことで効率的・効果的な事業運営に努めます。

おおいたLSIクラスターは、「世界の情報を大分へ、大分の企業を世界へ！」をスローガンに、大分の企業がグローバルな競争力・活動力を身につけ、地域の発展に貢献するために、力強く事業を推進して参ります。

2 専門部会活動方針

グローバルイノベーション部会

世界をリードする新技術の創出に資する有望な研究開発テーマの掘り起こしを進めるとともに、新事業にチャレンジする企業を支援していく。

半導体関連技術を基に新分野・成長分野への事業展開を目指し、情報提供のためのセミナーを開催し、グローバルな人材の育成を推進する。半導体基礎講座を引き続き開設し、若手技術者の育成を推進する。

グローバルマーケティング部会

会員企業のグローバルビジネスへの参入を支援する。

国内外の世界規模の展示会に出展し、会員企業の技術や製品を広くPRするとともに、大手企業と会員企業とのビジネスマッチングを支援する。

グローバルネットワーク部会

世界的視野を持つ経営者づくりのために、トップレベルの情報提供を強化し、ネットワークづくりを推進する。会員同士の交流や国内外の同業・異業種企業・団体との交流、産学の交流等を推進する。

3 事業内容

(1) 理事会・専門部会等の開催

「おおいたLSIクラスター」の事業計画等を協議・推進するため、理事会、企画委員会、審査会、専門部会、連絡協議会を開催する。

- ①理事会（年度始め、年度末に開催）
- ②企画委員会（年5回程度開催）
- ③審査会（必要に応じ開催）
- ④専門部会（必要に応じ開催）
- ⑤連絡協議会（必要に応じ開催）

(2) 総会・フォーラムの開催

①総会

「おおいたLSIクラスター」の取組みを、推進会議の会員や県内外に広く周知するために、総会を開催する。

②フォーラム

最新の半導体技術や産業動向等の情報収集の場として、フォーラムを開催する。

特に、世界市場に向けた企業の海外戦略や研究開発等のアライアンスの取組み等について、先進事例を紹介する。

(3) グローバルイノベーション事業の実施

①補助金の交付

半導体関連技術を基にした新分野・新技術に関する研究開発及び会員にとっての新規事業への取組や新規事業アイデアに対して補助金を交付する。また、産学連携による研究活動への取組に対して補助金を交付する。

②成果報告会

成果報告会を通じて、研究テーマや新規事業への取組に対するアドバイスやサポートを実施し、事業化に向けた支援を強化するとともに、これまでの研究開発の成果やビジネス化の成功事例をアピールする。

③セミナーの開催

半導体関連技術を基に新分野・成長分野への新事業展開を目指し、情報提供するために技術者塾やセミナー等を開催する。

④半導体技術者基礎講座

新任技術者等を対象にした半導体基礎講座を継続して実施する。

⑤学との連携・広域連携

企業課題に対して、産学連携による研究活動に取組、新たなシーズの創出を図る。学生による会員企業見学会を継続して実施する。

(4) グローバルマーケティング事業の実施

①海外ビジネス交流

台湾電子設備協会との交流に加えてその他の諸団体との交流を進め幅広い事業分野での台湾商談会をオンラインまたはリアルで開催する。

中国市場へのアクセス拡大に向けて、台湾企業との関係構築のほかに県内留学生の現地ネットワーク等と連携し中国諸団体とのビジネス交流を進める。その他アジア地域へのビジネスチャンス进行调查する。

②展示会出展

セミコンジャパン、ネプコンジャパンに九州パビリオンとして、継続出展し、会員のビジネスチャンス拡大を支援する。また、会員企業の技術や製品を広くPRするとともに、「おおいたLSIクラスター」活動を紹介する。

電子デバイス関連の国際学会に参加し、最先端かつグローバルなニーズ・シーズ等の情報を収集するとともに、クラスターブース展示による情報発信を行う。

③ビジネスマッチング

九州半導体・エレクトロニクスイノベーション協議会ならびに地域間(企業)連携を促進、国内外の大手企業のニーズ調査を行い、会員企業との技術マッチングを推進することで会員企業の販路開拓を支援する。また、新規参入支援を拡充する。

会員企業の技術力を活かせる異業種分野とのマッチングの可能性も探っていく。

(5) グローバルネットワーク事業の実施

①国内外経営トップ相互の交流

経営トップを対象に、半導体業界の最新動向や技術情報、新分野・成長分野への展開を目指し情報を提供するためセミナーを開催するとともに、国内外経営者相互の交流を図る。

②会員間及び産学官のネットワークづくり

会員が交流する場として会員交流会を開催し、先進技術や技術動向等に関する情報交換を行うとともに会員間のネットワークを形成する。

産学官各団体(県工連、地方創生事業参加団体等)との交流を図る。

『災害時における相互協力に関する合意書』を周知していくことで、会員の事業継続計画(BCP)活動を定着させ、あわせて会員間連携強化を図る。

③広域的な交流の推進

他地域クラスターや海外企業経営者などと広域的に交流し、会員企業の多様な技術活用やビジネス拡大、グローバル化等に結びつける。